

TOTO ロータンク施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にてご使用方法を十分にご説明ください。

安全のために必ずお守りください

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお取り付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表 示	意 味
△ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	必ず実行していただく 「強制」内容です。		してはいけない「禁止」 内容です。
--	-------------------------	--	----------------------

△ 注意

	設置工事に使用する部品は必ず付属部品及び指定部品を使用してください。
	陶器に衝撃を与えないようにしてください。陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。
	給水ホースを無理に折り曲げたり、タバコの火やカッターなどで、傷をつけないでください。給水ホースが破損し、漏水して家財などを濡らし、財産損害発生の恐れがあります。

開 棚 作 業

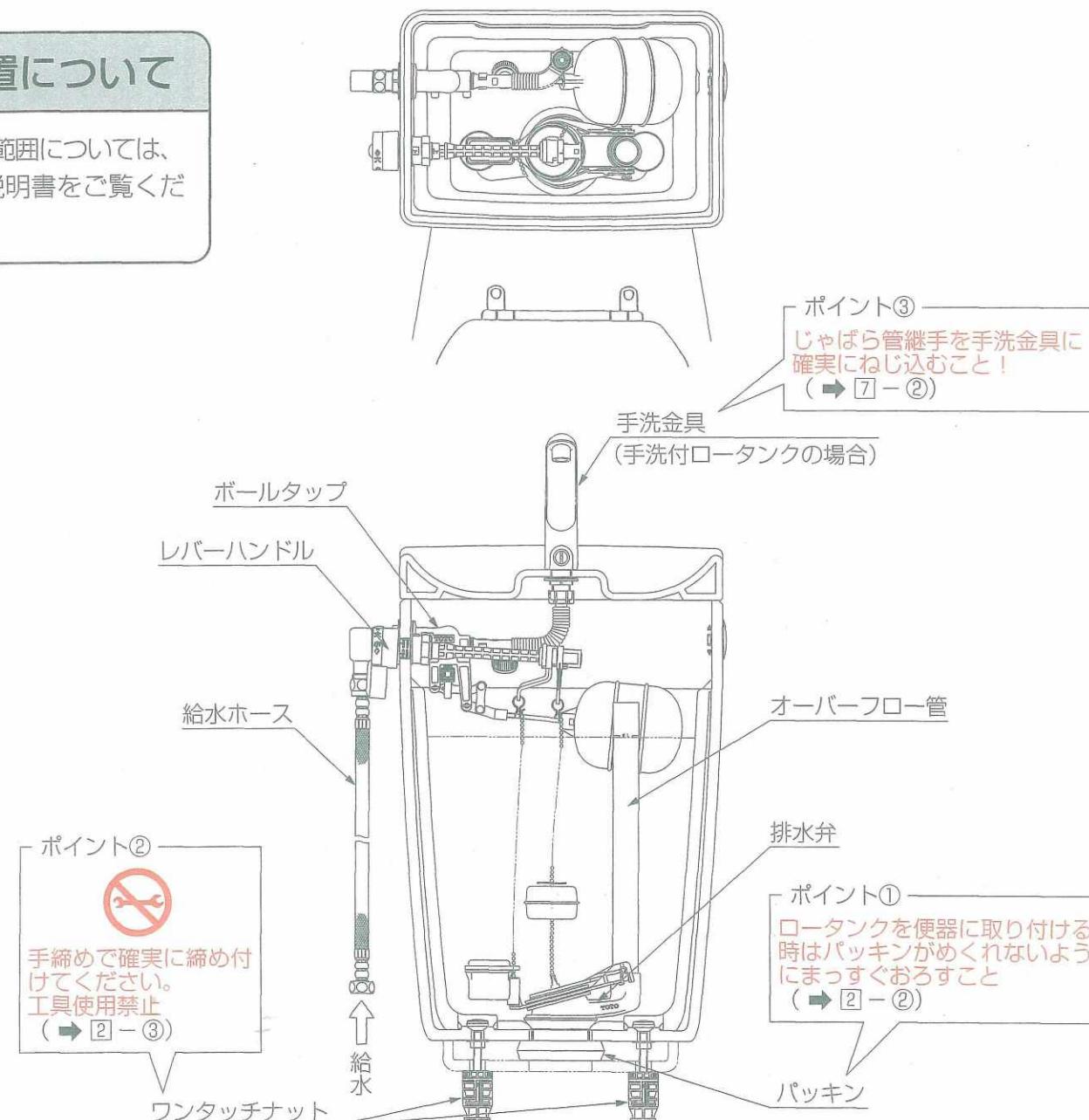
※部品があるか、下記表を参照して確認してください。

名 称	個 数	略 図	備 考	包 装
タンクふた	1個		略図は手洗付の場合を示す	
タンク本体 (ユニット)	1個			
排水パッキン	1個			
手洗金具	1セット		手洗付の場合のみ	大袋
ワンタッチナット	2個			
給水ホース	1個			
施工説明書	1枚	本 紙		
取扱説明書	1冊			小袋

各部の名称と施工のポイント

既設給水位置について

既設給水の使用可能範囲については、便器に同梱の施工説明書をご覧ください。



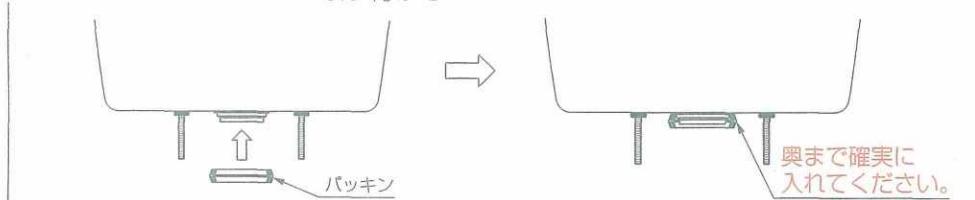
器具の取り付け

① 便器の取付け

便器に同梱の施工説明書にそって、便器を取り付けてください。

② ロータンクの取付け

① ロータンクにパッキンを取り付ける

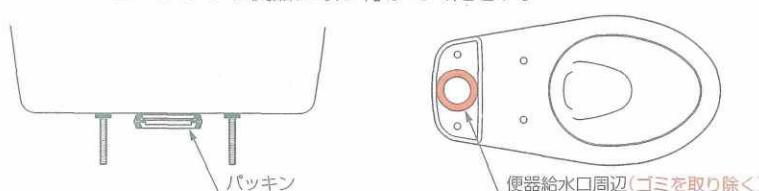


注意

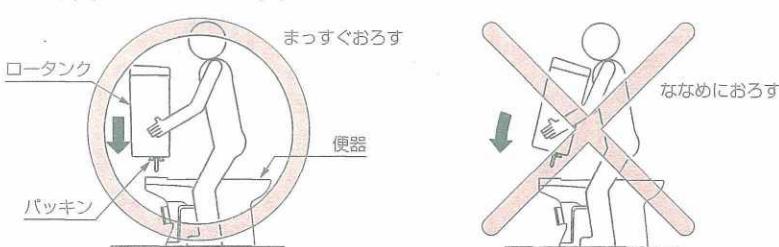
同梱のパッキンを上図のように取り付けてください。
正しく取り付けないと漏水します。

② ロータンクを便器に取り付ける

便器給水口周辺の防傷紙・ゴミなどを完全に取り除いた後、
ロータンクを便器に取り付けてください。



下図のようにロータンクをまっすぐおろすように便器に取り付けると
確実にシールできます。

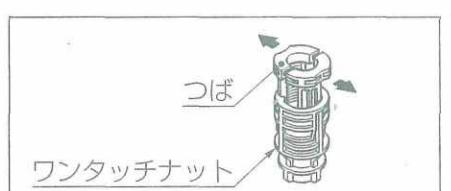


注意

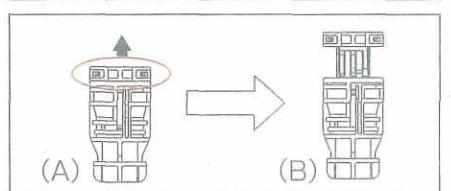
パッキン及び給水口周辺のゴミを取り除かなかったりロータンクをななめにおろすとパッキンがめくれて漏水するおそれがあります。

③ ワンタッチナットでロータンクを固定する

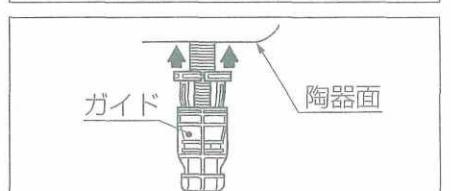
(1) つばが広がっていることを確認します。



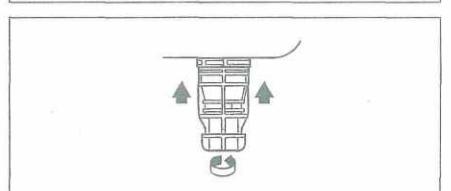
※(A)の時、つばを引っ張りあげ
(B)の状態にします。



(2) つばの上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込みます。



(3) ガイドを少し回しながら押し上げます。



(4) ワンタッチナットを手で締付けます。

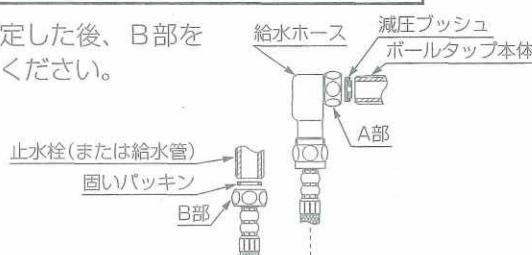


注意

ワンタッチナットを締付けるときは必ず手で行ってください。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

③ ボールタップと止水栓の接続

A部を固定した後、B部を
固定してください。



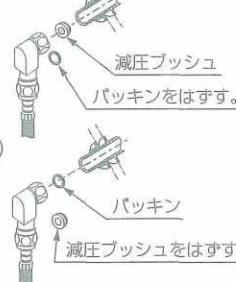
減圧弁ブッシュの取扱い

水圧が低く(0.1 MPa以下)タンク貯水に時間がかかりすぎると、減圧ブッシュをはずしてセットしてください。その場合、接続部には製品に付属のパッキンを使用してください。減圧ブッシュ使用の場合は、このパッキンは使用しませんのでお客様にお渡しください。

(減圧ブッシュをセットする場合)

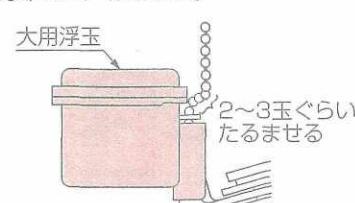


(減圧ブッシュをセットしない場合)



④ 排水弁の作動確認(続き)

① 初めに大用浮玉(ピンク浮玉)につながっている玉鎖を、排水弁操作部の大用レバー(ピンクレバー)につないだ状態で、玉鎖のたるみが、2~3玉ぐらいになるように調節してください。



② 小用の玉鎖を大用で調節したときに余った玉の数と同じ数だけ玉を余らせてください。



⑤ 水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL(標準水位)に合うように、次の要領で調節してください。

① 調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。90°回すと約8mm水位が変わります。

・上から見て右回し…止水位が上がります。

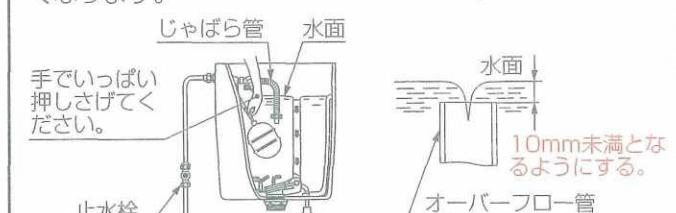
・上から見て左回し…止水位が下がります。

② 調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックしてください。



⑥ 止水栓の調節

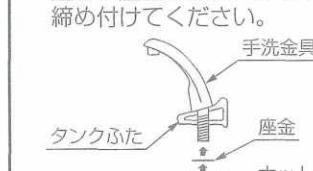
浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



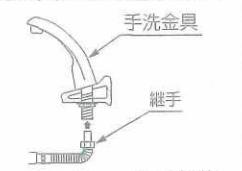
止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

⑦ 手洗金具の接続(手洗付の場合)

① タンクふたに手洗金具を差し込み、座金をはめ、ナットで締め付けてください。



② じゃがら管の継手を手洗金具にねじ込みます。



⑧ 手洗金具の吐水量調節(手洗付の場合)

調節金具をドライバーなどで回し、手洗金具からの吐水量が適当な水勢になるように調節してください。



⑨ 取付け完了後の確認

2~3度操作して、漏水等の異常がないことを確認してください。なお、冬期間の凍結予防方法についてはお客様にご説明ください。